

令和7年度 第5次江東区地域福祉活動計画 評価表

I - ①

目指す地域の姿	I 人と地域のつながりがあるまち								
活動目標	①つながるきっかけを作ろう			地域住民評価点	住民 3.77			団体 3.39	
社協の取り組み	・アウトリーチによる個別支援・地域支援 ・地域活動を担う人材の発掘 ・包括支援体制整備における地域づくり ・福祉や地域課題についての講座の開催			社協事務局評価点	優れて達成している	やや優れて達成している	概ね達成している	やや達成が不十分	全く達成できていない
					5	4	③	2	1

事業名	地域福祉コーディネーター事業			※令和7年度評価にかかる資料集 1 ～ 40 ページ		所管課	地域福祉推進課		
事業概要	地域でのつながりをつくるため、区内5圏域に地域福祉コーディネーターを配置し、その活動拠点の整備を進めます。地域福祉コーディネーターは、アウトリーチ活動等を通じて潜在している地域の福祉課題や地域資源を掘り起こし、人と地域を結びつけながら解決に向けて取り組みます。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
令和5年度に開設された活動拠点「サテライト城東北部・城東南部」に続き、新たな活動拠点「サテライト深川北部」を開設することができ、各圏域においてより一層様々な関係機関や地域住民と連携する基盤をつくることのできた。				臨海部圏域に新たな活動拠点の開設準備を進めていくと共に、アウトリーチ活動と拠点での活動により、地域の特色に合わせた活動を展開する。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
アウトリーチ活動数（件）		目標	－	2,000	2,000	2,500	2,500	3,000	3,000
		実績	1,317	1,817	1,739				
支援数（件）		目標	－	8,000	8,000	9,000	9,000	10,000	10,000
		実績	7,862	9,343	7,835				
財源：補助金・自主財源		予算	59,202,000	68,736,000	104,945,000	90,207,000			
		決算	39,017,059	53,687,718	99,934,225				

事業名	地域福祉サポーター（地域福祉推進員）制度		所管課	地域福祉推進課				
事業概要	地域の福祉課題の発見、解決に向けて地域の中心となるボランティアの育成に取組みます。また、定期的な連絡会の開催や地域交流活動を通じて地域福祉コーディネーターとの連携を図り、地域でのつながりの場づくりや困りごとの解決に協働して取組みます。							
取組の成果		今後の課題や方向性						
新たに地域福祉サポーター養成講座を修了した１８名が加わり、地域での困りごとの解決や社協カフェ等地域でのつながりの場づくりに、地域福祉コーディネーターとともに取り組んだ。また、地域活動へ参加したり自主活動グループが結成されるなど、積極的に活動するサポーターが増えてきた。		定期的に養成講座を開催し新たな地域福祉サポーターの育成を図るとともに、全体交流会や地域ごとに開催する連絡会での情報共有や交流を通じて、より一層地域福祉コーディネーターとの連携や地域活動への参加促進を図る。						
年次目標		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
地域福祉サポーターの参加する地域活動数（回）	目標	－	50	50	60	60	70	70
	実績	－	79	71				
財源：自主財源	予算	399,000	399,000	399,000	434,000			
	決算	26,227	53,435	113,602				

目指す地域の姿	Ⅰ 人と地域のつながりがあるまち						
活動目標	②つながる場を作ろう	地域住民評価点	住民 3.36		団体 3.36		
社協の取り組み	・おしゃべりや交流の場の設置 ・地域のプラットフォームの設置 ・つながりの場、居場所の設置支援	社協事務局評価点	優れて達成している	やや優れて達成している	概ね達成している	やや達成が不十分	全く達成できていない
			⑤	4	3	2	1

事業名	地域交流活動促進事業	※令和7年度評価にかかる資料集 41 ～ 43 ページ		所管課	地域福祉推進課				
事業概要	世代・国籍を問わず、誰もが集う地域の居場所として、「社協カフェみんなの居場所」を区内5地域で開催し、地域情報の収集、地域課題の発見、福祉相談等に取組みます。関係機関と連携することで開催施設の拡大を図り、運営には地域福祉サポーターその他のボランティアと協力しながら、住民同士がつながる場として充実を図ります。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
定期開催している「社協カフェ」に加え、「出張社協カフェ」および各サテライト主催の「サテライトカフェ」を多様な機関やボランティアと連携しながら開催し、住民同士のつながりづくりにより一層寄与することができた。				開催エリアの状況（住民主体の活動の多寡など）も踏まえつつ引き続き区内各所でカフェを開催し、地域住民の誰もが気軽に参加し交流できる地域の居場所作りに取り組んでいく。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
開催数（回）		目標	24	50	50	50	50	50	50
		実績	39	78	71				
財源：自主財源・歳末たすけあい配分金			予算	718,000	881,000	881,000	971,000		
			決算	250,226	451,540	453,714			

事業名	ふれあい・いきいきサロン活動支援事業			※令和7年度評価にかかる資料集 44 ～ 47 ページ		所管課	地域福祉推進課		
事業概要	高齢の方・障害のある方・子育て中の親子・外国人等地域で孤立しがちな方を対象にしたサロン活動の立上げや運営を支援します。また、情報交換を目的としたサロン連絡会等を開催し、サロン活動の充実に取組みます。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
登録サロン数は目標値は達成した。サロン通信では、活動紹介に加え、参加者や地域の方の思い、活動を通じて生まれたつながりや出番を紹介し、サロンが人と地域をつなぐ場であることを発信した。				地域の集いの場としてサロン支援を継続する。交流会やサロン通信では、社協だけで進めるのではなく、関係者や地域の人と共に考え、地域の力を支える関わり方を志向する。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
新規登録サロン数（件）		目標	15	15	15	15	15	15	15
		実績	14	31	27				
財源：歳末たすけあい配分金・自主財源		予算	4,676,000	4,938,000	4,938,000	5,560,000			
		決算	2,799,766	3,686,876	4,150,887				

目指す地域の姿	Ⅰ 人と地域のつながりがあるまち							
活動目標	③つながる仕組みを活用しよう	地域住民評価点	住民 3.68			団体 3.14		
社協の取り組み	・多世代交流の促進 ・地域で安心して暮らすための仕組みづくり	社協事務局評価点	優れて達成している	やや優れて達成している	概ね達成している	やや達成が不十分	全く達成できていない	
			5	4	③	2	1	

事業名	地域福祉活動支援事業	※令和7年度評価にかかる資料集 48 ページ			所管課	地域福祉推進課				
事業概要	地域の皆さんが主体的に行う地域福祉活動（多機能型地域福祉活動拠点等）の立上げや運営の支援を行います。 また、地域福祉活動の普及や活動団体のネットワーク化等、地域の助け合い体制の強化に取組みます。									
取組の成果				今後の課題や方向性						
昨年度につづき、新規の地域拠点立ち上げには至らなかったが、多機能型地域福祉活動拠点を新たに立ち上げたり継続的に活動しやすくするよう、活動回数等の助成基準を改訂し、令和8年度より施行した。				社協だよりや社協ホームページ内で「砂町よっちゃん家」「カフェ06」「たまりば どんぐり」の活動紹介や分かりやすい事業告知に努め、事業の周知と共に活動団体の新規立ち上げをめざす。						
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	
支援数（件）			目標	－	4	4	5	5	6	6
			実績	3	3	3				
財源：自主財源・歳末たすけあい配分金			予算	1,726,000	1,726,000	1,726,000	1,726,000			
			決算	727,700	724,140	723,300				

事業名	高齢者地域見守り支援事業		※令和7年度評価にかかる資料集 49 ～ 52 ページ		所管課	地域福祉推進課			
事業概要	社会的孤立や孤独死の防止を目的に、地域の皆さんが主体となって取組む見守り活動を支援します。新たに見守り活動に取組む地域には、視察やセミナー等を通じて地域の実情にあった見守り体制の構築を支援します。また、既に活動している地域には、ノウハウの共有や情報交換、定期的な訪問を通じて活動の充実を図ります。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
新たに2つのサポート地域が登録し、先進地域見学や個別セミナー、見守り活動シートの作成等を通じて住民主体の見守り体制構築を支援した。また、区内8圏域での「地域見守り連絡会」や全体セミナーの開催により、多様な関係機関との連携を強化するとともに、地域における「緩やかなつながり」や専門知識に関する意識啓発、ノウハウの共有を図った。				町会・自治会や管理組合等へ直接訪問し、地域における見守り活動の重要性を繰り返し粘り強く伝え続けていく。ただし、住民主体の活動であるため、地域の自主性を尊重し、活動への意欲を丁寧に盛り立てていく。新たに見守り活動への関心を示した地域に対しては、それぞれの実情に寄り添い、無理なく活動を展開・継続できるよう伴走型支援に注力する。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
新規サポート地域数（件） （活動団体数）		目標	4	4	4	4	※	※	※
		実績	1	1	2				
財源：受託金		予算	35,846,000	37,141,000	37,109,000	40,202,000			
		決算	29,144,978	28,738,210	31,442,197				

※江東区高齢者地域包括ケア計画に準ずる

事業名	高齢者生活支援体制整備事業				所管課	地域福祉推進課			
事業概要	地域の皆さんと共に多様なサービスの担い手の養成・発掘やネットワーク化を行う生活支援コーディネーターを配置します。区内5地域で地域の支え合いに活用できる地域資源や居場所等のリストを作成し、つながりづくりを進めます。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
昨年度の城東北部に続き、城東南部においても第2層協議体が発足し活動を開始した。メンバーの意向により資源リストの作成ではなく、地域課題についての話し合いや地域イベントへの参加等の活動を行った。それによりメンバー間で地域コミュニティの重要性を学ぶ機会となった。				各圏域の地域福祉コーディネーターが把握している地域資源について、圏域内で共有しているものを再確認し、客観的に利用できる形へリスト化していく。 また、福祉専門職で構成する協議体として地域住民に対し、何が出来るのかを協議し活動を継続していく。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
地域資源リスト作成数（件） （地域数）		目 標	-	2	2	3	3	4	4
		実 績	-	0	0				
財源：受託金		予算	37,366,000	39,683,000	40,277,000	43,200,000			
		決算	32,232,510	31,262,331	38,782,935				

目指す地域の姿	II 支え合い、助け合いのあるまち				
活動目標	①思いやりの心を育てよう	地域住民評価点	住民	3.79	団体 3.14
社協の取り組み	・ボランティア福祉体験の実施	社協事務局評価点	優れて達成している	やや優れて達成している	概ね達成している
			5	④	3
				2	1

事業名	児童・生徒のボランティア福祉体験学習	※令和7年度評価にかかる資料集 53 ～ 54 ページ		所管課	ボランティア・地域貢献活動センター				
事業概要	区内小中学校・高校において、福祉・災害関係等のボランティア活動をしている方々の体験談や、障害者の方のお話を伺う機会、また、高齢者・障害者擬似体験等の学習機会を設け、他者の気持ちを理解し、相手を思いやる心、互助の気持ちとボランティア意識を育みます。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
福祉体験学習に参加した児童・生徒数は増えており、体験を通じて高齢者や障害者の立場に立って考えることで、「困っている人には声をかけたい」という感想も多く、地域での支え合い・助け合いの醸成につながれた。				通常の学校教育では得られない専門性を活かした学習を得られる福祉体験学習の利点について周知に努めつつ、新たなボランティア講師の協力を得られるよう働きかけ、学習メニューの充実を図る。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
実施校数（校）		目標	30	10	12	14	16	18	20
		実績	10	12	12				
財源：補助金		予算	44,000	52,000	52,000	52,000			
		決算	0	0	10,200				

事業名	ボランティア体験学習			※令和7年度評価にかかる資料集 55 ～ 56 ページ		所管課	ボランティア・地域貢献活動センター		
事業概要	「夏体験ボランティア」を通し、日頃、学校等では体験できない現場での福祉活動から、さまざまな経験をすることで今後のボランティア活動のきっかけとなるよう支援をします。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
学生が気軽に申し込めるようグーグルフォームでの受付や夏体験ボランティアの周知を図るため学校へ出向く出張説明会を開催。東京ボランティア・市民活動センターと協働して、自宅のできる手軽な活動を新たに実施したことで参加人数の増加に繋げることができた。				夏季休暇終了後もボランティア活動が継続していくよう、「シルバーウィークは会いに行こう」（9月のシルバーウィークに高齢者施設を再訪）、「春キャン」（春休みを活用したボランティア体験キャンペーン）とボランティア体験の機会を設け、広報、周知を推進していく。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
参加人数（人）		目標	140	130	140	150	160	170	180
		実績	138	186	375				
財源：補助金		予算	156,000	216,000	216,000	173,000			
		決算	144,719	113,692	118,700				

目指す地域の姿	II 支え合い、助け合いのあるまち							
活動目標	②地域で助け合おう		地域住民評価点	住民 3.71		団体 3.11		
社協の取り組み	- 子育てで家庭の支援者を育成 - 地域住民による支え合い助け合いの支援 - 子育て支援活動への助成	社協事務局評価点	優れて達成している	やや優れて達成している	概ね達成している	やや達成が不十分	全く達成できていない	
			5	④	3	2	1	

事業名	ファミリー・サポート事業			※令和7年度評価にかかる資料集 57 ～ 58 ページ		所管課	福祉サービス課	
事業概要	子育ての手助けが必要な方（利用会員）に子育ての手助けができる方（協力会員）を結びつける会員組織です。会員の相互協力と信頼関係に基づくボランティア活動により、小さなお子さんをもつ家庭を支援します。地域ぐるみの子育てを推進するため、協力会員登録の少ない地域での増員を図り、事業の充実に努めます。							
取組の成果				今後の課題や方向性				
協力会員登録養成講座のチラシを刷新したほか、協力会員向け研修会を協力会員以外の区民も参加できるようにすることで、活動の周知及び担い手の確保を図った。さらに、東京都子育て支援員研修修了者については、協力会員登録養成講座の一部免除を可能とし簡素化を図るとともに、活動場所まで距離のある活動においてもマッチングがしやすくなるよう、協力会員の移動時間を謝礼の対象に含めるよう見直し、令和8年4月から実施することとした。				協力会員及び利用会員双方にとって利用しやすい仕組みづくりが課題であり、グーグルフォームを活用するなど、業務効率化に取り組む。きょうだい児の預かりニーズへの対応として対象年齢の拡充を検討するとともに、キャッシュレス決済の導入やオンライン対応が可能なシステムへの移行を見据え、他自治体への視察等も行いながら見直しを進める。利用しやすいシステム運用を目指すとともに、会員の不安軽減や関係構築に向けて、対面でのフォローや訪問対応を強化し、安心して活動できる環境づくりを進める。				
年次目標		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
利用会員利用実人数（人）	目標		330	345	360	375	390	405
	実績	252	256	228				
協力会員協力実人数（人）	目標		150	160	165	170	180	185
	実績	130	141	127				
利用・活動延件数（件）	目標		5,940	6,210	6,480	6,750	7,020	7,290
	実績	5,904	6,240	5,270				
財源：区受託金	予算	28,892,000	29,812,000	29,591,000	29,067,000			
	決算	25,237,184	23,235,597	21,713,673				

事業名	ホームヘルプサービス事業 (ふれあいサービス)		※令和7年度評価にかかる資料集 59 ～ 61 ページ		所管課	福祉サービス課		
事業概要	区民一人ひとりが、地域でいきいきと安心して暮らせるよう、地域の方々のご協力を得て行う有償ボランティア活動です。同じ地域の住民がお互いに助け合うシステムで家事・介護等のお手伝いを行います。高齢者人口の増加に伴い、介護保険では対応ができない病院内での付き添いをはじめ介護保険外での家事援助サービス、産前産後の家事援助等の需要増が見込まれるため、協力会員の増員を図るとともに、活動しやすい体制構築を目指します。							
取組の成果				今後の課題や方向性				
他区社会福祉協議会の視察結果を踏まえ、サービス内容や利用料金の見直しを検討し、サービスの整理及び拡充の方向性を決定した。これにより協力会員の増強に向け、柔軟に活動しやすい体制の構築に向けた基礎を整備することができた。また、区内施設や社協事業、各種イベント等でのチラシ配布及び社協ホームページやSNSを活用した積極的な周知活動を展開した。さらに、協力会員向け事業説明会においても、活動インタビュー動画を導入することで、説明内容の標準化を図り、参加者への安定した情報提供を実現した。活動の魅力ややりがいについても「動画により具体的なイメージを持ちやすく、分かりやすくなった」との評価を得ており、継続的な周知活動や登録促進に向けた取組について着実な効果が見られている。				介護保険サービスとのすみ分けを踏まえ、介護サービスを廃止し、家事援助及び外出援助を主たるサービスに位置付け、利用会員の利便性の向上と地域の身近な支援としての定着を図る。「ちょこっとサービス」を7事業から10事業へ拡充することで、協力会員の活動機会の拡大を図り、多様な人材が参画しやすい環境を整備する。また、こうしたサービス内容の見直しに伴い、チラシのブラッシュアップや新規協力会員の確保に向けた継続的な広報・周知を強化するとともに、区内事業者連絡会等を活用した関係機関への周知を継続し、連携の強化を図っていく。きめ細やかなマッチングを通じて、協力会員の活動の機会を一層広げ、幅広い担い手の定着を促進するとともに、地域の支え合いの仕組みの強化を図る。				
年次目標		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
利用会員利用実人数（人）	目標		330	345	360	375	390	405
	実績	337	303	277				
協力会員協力実人数（人）	予算		165	175	180	190	195	205
	決算	126	130	121				
利用・活動延件数（件）	予算		6,930	7,240	7,560	7,870	8,190	8,500
	決算	5,130	4,394	3,793				
財源：補助金	予算	5,918,000	5,379,000	5,762,000	5,455,000			
	決算	3,544,239	2,676,391	3,022,335				

事業名	家庭訪問型子育て支援事業 (ホームスタート)		※令和7年度評価にかかる資料集 62 ページ		所管課	福祉サービス課			
事業概要	未就学児（6歳未満）のいる子育て世帯の孤立防止、育児不安の軽減、虐待防止を目的に、オーガナイザーがマネジメントを行い、トレーニングを受けたホームビジターが週1回程度、計6回訪問し、「傾聴」や「協働」を通じて支援をします。 地域で孤立しがちな親子にいち早く手を差し伸べ、子育ての不安やストレスを軽減し、こども達が安心して育つことができる環境を整えます。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
多様な子育て支援がある中でも、「一緒に行う支援」「寄り添い型支援」を積極的に周知した結果、新規118件・継続も含め訪問家庭137件と安定した利用実績を確保した。ホームビジターの丁寧な訪問により、ホームスタートの意義や効果が区民に認知されてきており、保健師や子育て支援関係者からの紹介が増加した。支援面では、孤立感の解消や保護者の心の安定など多くのニーズで高い充足が見られ、利用者の精神的負担軽減や自己肯定感の向上に寄与した。さらに一定期間継続的に関わることで信頼関係が形成され、複雑な背景を持つ家庭に対しても一定の支援効果を発揮した。また、初産の方の産前利用が増えており、安心して子育てをスタートさせる意味で、その役割は大きい。				情報収集が困難な家庭や孤立家庭とどうつながるかが大きな課題であり、支援が必要でもアクセスできない層への働きかけの強化が必要である。保健師・医療機関など専門職への周知を強化し、SNSやインターネットを活用した情報発信の方法を検討していく。また、申込みの時期や利用希望家庭の地域偏在により訪問調整が困難となる状況や、経験豊富なビジターの離脱による人材不足も顕在化しており、新規ビジターの養成と負担軽減の仕組みづくりが必要である。DVや経済問題など単独では対応しきれないケースも増加しており、ビジターの心理的支援の比重が高いケースも多く、他機関への橋渡しや継続的な支援体制の強化、複雑化するニーズに対応できる柔軟な支援体制の構築が求められる。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
訪問世帯数（世帯）		目標		135	140	145	150	155	160
		実績	124	126	137				
訪問回数（回）		目標		940	980	1,010	1,050	1,080	1,120
		実績	979	923	1,084				
財源：自主財源・歳末たすけあい配分金		予算	5,348,000	5,401,000	5,078,000	5,128,000			
		決算	5,218,178	5,057,182	5,065,656				

目指す地域の姿	Ⅱ 支え合い、助け合いのあるまち								
活動目標	③人材を育成しよう		地域住民評価点	住民 3.50			団体 3.32		
社協の取り組み	・ボランティアの養成、育成	社協事務局評価点	優れて達成している	やや優れて達成している	概ね達成している	やや達成が不十分	全く達成できていない		
			5	4	③	2	1		

事業名	ボランティア入門講座				所管課	ボランティア・地域貢献活動センター		
事業概要	地域の皆さんが、ボランティア活動に興味を持ち、参加へつながるきっかけとなるよう入門講座を開催し、担い手を増やし、ボランティア活動への取組みの裾野を広げていきます。							
取組の成果				今後の課題や方向性				
年次目標		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
受講者数（人）	目標	20	80	ボランティア養成アカデミーと統合				
	実績	74	50	—	—	—	—	—
財源：補助金	予算	267,000	362,000	—	—	—	—	—
	決算	47,000	160,000	—	—	—	—	—

事業名	ボランティア養成アカデミー 【地域活動への入口コース】			※令和7年度評価にかかる資料集 63 ～ 64 ページ		所管課		ボランティア・地域貢 献活動センター	
事業概要	地域の皆さんがボランティア活動を実践するために、必要な技術・知識を取得するための各種講座を開催しま す。開催内容や講座数については、区民のニーズを取り入れ受講生の確保に努めます。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
地域活動について、講座や先輩ボランティアから学びなが ら、活動の場となる児童・高齢者施設見学もメニューに取り入 れ、実際の活動につなげることができた。				講座修了生が地域活動を継続しながら活動を多角的に捉えるこ とを目的に、様々な事業者等との交流会を開催する。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
受講者数（人）		目 標	—	30	35	40	45	50	60
		実 績	—	27	18				
財源：補助金		予 算	—	269, 000	264, 000	323, 000			
		決 算	—	212, 713	199, 465				

事業名	災害ボランティア養成講座 【ボランティアの育成】			※令和7年度評価にかかる資料集 65 ～ 66 ページ		所管課	ボランティア・地域貢 献活動センター		
事業概要	防災意識の啓発に努めるとともに、災害ボランティア活動の基本的理解を深めます。幅広い層に対して活動への参加を促し、災害発生時にリーダーとして、また災害ボランティアセンターのスタッフとして、さまざまな状況に対応できるボランティアの養成を目指します。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
入門編として災害ボランティアセンターの役割について理解を深めながら、被災地での実際の活動について、体験談やクロスロードを通じて考えた。講座受講後は、区総合防災訓練にて災害ボランティアとしての動きを経験するなど、更なる区民の防災意識の啓発に取り組んだ。				講座には外国籍住民も参加しており、区の現況に即しながら、さまざまな区民が参加し、今後の活動につなげられるよう講座内容の充実を図っていく。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
受講者数（人）		目 標	50	65	70	75	80	85	90
		実 績	56	46	23				
財源：補助金		予 算	280, 000	356, 000	311, 000	311, 000			
		決 算	222, 059	69, 736	44, 000				

事業名	災害ボランティア養成講座 【災害ボランティアセンター設置運営訓練】					所管課	ボランティア・地域貢 献活動センター	
事業概要	災害ボランティアセンターの設置・運営に必要な資機材の整備を行います。また、地域特性に起因する災害を想 定した訓練を積み重ね、各地から集まってくるボランティアの受入調整や、被災者の支援ニーズとのマッチング が行えるよう運営体制を構築する準備に努めます。							
取組の成果				今後の課題や方向性				
江東区社会福祉協議会のＢＣＰを反映し、職員の非常態勢時 における役割が確認できるよう、内容を工夫した災害ボラン ティアセンター設置運営訓練を実施した。				関係機関と連携し、より実践的な訓練となるよう内容の充実を 図っていく。				
年次目標		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
参加者数（人）	目 標	—	75	80	85	90	95	100
	実 績	71	48	81				
財源：補助金	予 算	175, 000	719, 000	221, 000	225, 000			
	決 算	86, 589	606, 426	173, 030				

目指す地域の姿	II 支え合い、助け合いのあるまち								
活動目標	④ボランティアや地域貢献活動を推進しよう	地域住民評価点	住民 3.36			団体 3.25			
社協の取り組み	・ボランティア活動の支援と活性化 ・地域貢献活動団体、区民、行政、企業等の協働を推進する仲介役	社協事務局評価点	優れて達成している	やや優れて達成している	概ね達成している	やや達成が不十分	全く達成できていない		
			5	4	③	2	1		

事業名	中間支援組織運営事業	※令和7年度評価にかかる資料集 67 ～ 73 ページ			所管課	ボランティア・地域貢献活動センター		
事業概要	地域貢献活動団体、区民、行政、企業間の仲介役として中立的な立場で各々の活動を支え、その活動の活性化を図ります。							
取組の成果				今後の課題や方向性				
地域貢献活動団体の継続にあたり、課題となっている若い世代の参加不足や世代交代に対し、セミナーや団体支援を行うNPOによる組織運営相談を行い、課題解決に向けて共に取り組んだ。				地域活動団体の抱える課題の把握に努めながら、その解決により即した支援を行えるよう、中間支援組織としての充実を図っていく。				
年次目標		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
相談件数（件）	目標	—	900	1,000	1,050	1,100	1,150	1,200
	実績	914	559	363				
コーディネート数（件）	目標	—	450	500	525	550	575	600
	実績	599	501	651				
財源：受託金	予算	38,915,567	39,876,234	41,714,472	43,314,316			
	決算	36,024,597	33,066,457	38,548,769				

事業名	ボランティア・地域貢献活動の相談・登録・受給調整					所管課	ボランティア・地域貢献活動センター		
事業概要	地域の皆さんが主体的にボランティア活動に参加し、ボランティアの持つ力を組織や地域の中で十分発揮できるよう支援していきます。また、ボランティア活動をしたい方と必要としている側とのマッチング機能を強化します。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
ボランティア活動の契機となる講座や初めてボランティア活動を行う方が参加しやすいよう、期間を定めたボランティアキャンペーンを複数回実施した。また、センターのLINEやXを活用し、ボランティア情報を広く迅速に伝えられるよう努めた。				年齢に関わらずボランティア活動に参加できるよう、色々なボランティアの形を提示し、実際の活動につなげていく。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
ボランティア登録者数（人）	目標	—	2,500	2,550	2,600	2,650	2,700	2,800	
	実績	2,314	2,336	1,848					
地域貢献活動団体数（団体）	目標	—	80	85	90	95	100	100	
	実績	86	84	80					
マッチング率（％）	目標	70	70	70	70	70	70	70	
	実績	63	61	46					
財源：補助金	予算	2,751,000	2,685,000	2,751,000	2,880,000				
	決算	1,406,931	1,179,120	1,234,250					

事業名	江東区ボランティアまつり					所管課	ボランティア・地域貢献活動センター		
事業概要	中間支援組織として、ボランティアが集う拠点、また新たな連携を繋ぐ役割を充実させ、グループや組織の活性化を支援していきます。 「江東区ボランティアまつり」は、区民へのPR、ボランティア同士のネットワーク促進、情報発信の場として、開催を支援していきます。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
参加団体が前年度を上回り、様々な地域貢献活動について広く周知をすることができた。まつり終了後には、協力ボランティアへ参加を呼びかけ、振り返りを含めた交流会を開催し、つながりを深めることができた。				参加団体・ボランティア同士のネットワークが促進できるよう、まつりの内容や仕組みづくりについて検討していく。					
年次目標		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	
来場者数（人）	目標	1, 800	1, 200	1, 400	1, 600	1, 800	2, 000	2, 200	
	実績	1, 500	2, 100	2, 140					
参加団体数（団体）	目標	65	35	40	45	50	55	60	
	実績	55	61	68					
財源：補助金	予算	1, 090, 378	1, 090, 229	1, 035, 199	1, 035, 199				
	決算	843, 179	774, 980	817, 757					

事業名	企業等の社会貢献活動への支援					所管課	ボランティア・地域貢献活動センター		
事業概要	区内の企業や大学との新たな連携、協働を創出できるよう努めます。 現在、活動をしている社会貢献ネットワーク「こらぼら」では、情報交換や、これからC S R活動を始める企業や大学の相談等が気軽にできる場として、機能の充実を目指します。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
「こらぼら」では、定期的に連絡会を開催し、情報交換を行った。参加企業とは、特色を活かしたセンターと共催による子ども向け環境学習を行うなど、新たな形の連携を図ることができた。				これまでにつながりのなかった区内の企業や大学等へも積極的に働きかけ、新たな連携が図れるよう取り組みを進めていく。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
加入法人数（法人）		目標	—	15	16	17	18	19	20
		実績	14	11	11				
財源：補助金		予算	—	—	—				
		決算	—	—	—				

目指す地域の姿	Ⅲ 安心できる生活を支える仕組みのあるまち								
活動目標	①安心して暮らせる環境を整えよう	地域住民評価点	住民 3.08			団体 3.14			
社協の取り組み	- 福祉サービスの提供 - 在宅福祉および社会参加の促進 - 制度の狭間に対応する支援の構築 - 募金活動による地域づくりの推進 - 募金活動による福祉マインドの醸成	社協事務局評価点	優れて達成している	やや優れて達成している	概ね達成している	やや達成が不十分	全く達成できていない		
			⑤	4	3	2	1		

事業名	障害者作品バザー	※令和7年度評価にかかる資料集 74 ～ 79 ページ			所管課	福祉サービス課				
事業概要	障害者に対する区民の理解と当事者の社会参加と自立の促進を目的に、地域で開催されるイベントの出店をコーディネートします。									
取組の成果				今後の課題や方向性						
区内文化センターや地域イベント等において年間を通じて20回開催した。来場者数は延べ4,764人にのぼり、区民が障害者の作品制作活動に触れる機会を増やすことができた。新たな試みとして、2月に実施した障害者作品展でバザーを同時開催し、区民の理解と当事者の社会参加に寄与することができた。				地域イベントへの積極的な参加を継続し、障害者の社会参加の機会を促進していく。また、参加施設との協議を重ねながら、販路拡大など時代やニーズの変化に対応した事業展開を図り、区民の障害者に対する理解促進につなげる。						
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	
延参加事業所数（団体）			目標	57	62	64	66	68	70	72
			実績	73	94	81				
年間売上総額（円）			目標	1,158,000	1,259,000	1,300,000	1,341,000	1,381,000	1,422,000	1,463,000
			実績	1,403,628	2,071,778	1,622,448				
財源：自主財源・歳末たすけあい配分金			予算	212,000	220,000	220,000	220,000			
			決算	119,533	161,298	98,352				

事業名	共同募金運動	※令和7年度評価にかかる資料集 80 ～ 82 ページ			所管課	福祉サービス課			
事業概要	町会・自治会、民生・児童委員協議会並びに地域の多様な主体との協働により、広く募金運動を実施します。集められた募金は、地域住民や福祉施設・団体によるさまざまな福祉活動の推進に役立てられます。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
募金運動が町会・自治会や民生・児童委員協議会に偏らないよう、区民等に広く募金の協力を呼びかけ、保育園、福祉施設・団体、文化事業施設、企業・商店などに募金箱を設置していただくなど多くの協力を得た。また、区内を拠点に活動するトップスポーツチーム3チームそれぞれの試合会場において、関係団体の多大な協力と連携により街頭募金を実施した。				町会・自治会や民生・児童委員協議会に加え、福祉施設・団体、企業、商店等との連携をさらに深めるとともに、新たな協力団体の開拓を進め、多様な主体との協働による募金運動の充実と地域福祉への参加促進を図る。また、区民の募金への理解を深めるため、広報の強化を図る。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
赤い羽根共同募金運動参加施設・団体数 (団体)	目標	240	252	254	256	258	260	262	
	実績	242	262	266					
歳末たすけあい・地域福祉活動募金運動 参加施設・団体数 (団体)	目標	264	276	278	280	282	284	286	
	実績	279	288	288					

目指す地域の姿	Ⅲ 安心できる生活を支える仕組みのあるまち								
活動目標	②一人ひとりの権利を尊重しよう	地域住民評価点	住民 3.32			団体 2.96			
社協の取り組み	・中核機関として権利擁護に関わる地域連携ネットワークのコーディネート ・ネットワークを活かした支援チームへのアドバイス	社協事務局評価点	優れて達成している 5	やや優れて達成している 4	概ね達成している ③	やや達成が不十分 2	全く達成できていない 1		

事業名	福祉サービス総合相談			※令和7年度評価にかかる資料集 83 ～ 84 ページ		所管課	権利擁護センター	
事業概要	福祉サービスについての情報提供・利用援助、権利擁護に関することや成年後見制度について等、福祉に関する総合的な相談支援を行います。							
取組の成果				今後の課題や方向性				
高齢者・障害者やその家族からの相談を受け、地域生活で不利益を受けないよう支援ができた。また、判断能力の不十分な人の発見や支援を地域関係者と連携して対応することで、権利擁護についての理解を共有することができた。				判断能力が不十分なことにより自らSOSが出せない人や支援の必要性を意識できない人が適切な権利擁護支援から漏れないよう、地域連携ネットワークの中で情報を共有していく。				
年次目標		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
相談件数（件）	目標	10,724	11,700	12,080	12,460	※	※	※
	実績	11,369	11,377	12,240				
財源：受託金	予算	56,123,000	50,892,000	51,835,000	51,286,000			
	決算	44,549,572	46,632,002	42,710,363				

※江東区高齢者地域ケア計画に準ずる

事業名	日常生活自立支援事業				所管課	権利擁護センター			
事業概要	判断能力が不十分な高齢者、障害者の福祉サービスの利用、日常的な金銭管理や書類等の預かり等の援助を行います。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
ケアマネジャーをはじめとする多様な支援関係者から相談を受け、新たに27件が契約につながった。そして、地域住民である生活支援員と協力し、本人が希望する暮らしを実現できるよう権利擁護支援を行うことができた。				社会福祉法改正に伴い、身寄りのない高齢者への対応を含め、事業の発展・拡充が検討されている。これを機に、意思決定支援など権利擁護の視点を、地域により広く浸透させていく。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
契約総数（件）		目 標	123	131	135	139	※	※	※
		実 績	129	130	127				
財源：受託金		予 算	16,766,000	16,999,000	21,630,000	20,674,000			
		決 算	16,766,000	16,999,000	21,630,000				

※江東区高齢者地域ケア計画に準ずる

事業名	成年後見制度推進事業				所管課	権利擁護センター			
事業概要	成年後見制度の活用を図るため、相談・利用支援、講座の開催、後見人等連絡会の開催、市民後見人の養成や法人後見・後見監督の受任等を行います。 また、江東区成年後見制度利用促進基本計画を踏まえ、関係機関との連携を強化し、適切な利用促進に取り組みます。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
成年後見制度講習会や出前講座などにより区民への周知ができた。また、福祉・法律の専門職と連携し、支援関係者などに権利擁護の支援方針などの助言をし、権利擁護として成年後見制度を必要とする人を、適切な利用につなげることができた。				民法改正の趣旨を踏まえ、成年後見制度を含む権利擁護支援が適切に活用されるよう、地域や行政、福祉・法律の専門職との協議を重ねていく。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
申立て支援件数（件）		目標	126	135	140	145	※	※	※
		実績	155	145	159				
法人後見/後見監督受任件数（件）		目標	1/6	2/8	2/9	2/10	※	※	※
		実績	1/6	1/2	0/3				
財源：補助金		予算	8,309,000	8,652,000	8,991,000	9,397,000			
		決算	7,736,403	8,095,282	8,553,819				

※江東区高齢者地域ケア計画に準ずる

目指す地域の姿	Ⅲ 安心できる生活を支える仕組みのあるまち								
活動目標	③地域福祉の基盤を整備しよう	地域住民評価点	住民 3.56			団体 2.71			
社協の取り組み	・社協組織の強化 ・地域福祉活動計画の推進 ・区内社会福祉法人のネットワーク化の推進 ・福祉人材の掘り起こしと育成 ・PR・広報活動の強化	社協事務局評価点	優れて達成している	やや優れて達成している	概ね達成している	やや達成が不十分	全く達成できていない		
			5	4	③	2	1		

事業名	社協会員の増強				所管課	総務課			
事業概要	江東社協の会員数の増加に向け、社協事業やイベント時に会員加入についての啓発活動を行います。また、町会・自治会や民生・児童委員等の会議に積極的に出向き、社協事業のPRを広く行うとともに、区民との対話を通じて、ニーズを把握し、社協事業に活かします。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
会員募集資材の配付や事業案内の発行、行事等でのPRに加え、オンライン決済による加入環境の整備を継続した。町会・自治会会員は244団体・140,993世帯となり、一般会員数は2,855人と増加し、会費収入も6,268,360円と前年度を上回った。				引き続き町会・自治会や関係団体への訪問・説明を充実し、会費の使途や社協事業の成果を分かりやすく発信する。オンライン決済の周知や継続会員への定期的な活動報告を進め、新規加入と継続率の向上を図る					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
社協会員数（人） （正、賛助、特別会員合計）			目標	3,188	3,188	3,188	3,188	3,188	3,188
			実績	3,091	2,837	2,855			

事業名	社協の広報・普及宣伝				所管課	総務課			
事業概要	広報紙「江東区社協だより」を活用し、紙面の見やすさと長期保存性を活かして、江東社協の多彩な事業や活動を区民に効果的にPRします。同時に、若年層の社協事業への関心を高めるため、若者にも魅力的なデザインを目指します。 また、特集記事、成功事例、区民の声、活動の予定等、幅広いコンテンツを取り上げ、江東社協の事業や活動を広く紹介します。 さらに、リアルタイムな情報提供手段としてのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を引き続き活用します。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
「社協だより」を年2回・計601,500部発行し、全戸配付と公共施設等への配架を行った。区民まつり等でPRするとともに、ホームページ、X、Instagram、LINEを活用して情報発信を継続した。Xは477人、LINEは1,805人と目標を上回り、幅広い層への情報発信を強化できた。				ホームページアクセス数は5,989件で目標に届かなかったため、SNSからホームページへの導線や掲載内容を見直す。「社協だより」は住民・利用者の声を取り入れた紙面づくりを進め、X・Instagram・LINEでは媒体ごとの特性を活かし、効果を分析しながら継続的に発信する。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
ホームページアクセス数（件）	目標	5,400	6,000	6,300	6,600	6,900	7,200	7,500	
	実績	4,932	5,874	5,989					
SNS（X）のフォロワー数（人）	目標	250	280	310	340	370	400	430	
	実績	310	441	477					
LINE（ボランティア・地域貢献活動センター）ともだち件数（人）	目標	710	1,000	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	
	実績	1,007	1,448	1,805					

事業名	自主財源の確保			所管課	総務課				
事業概要	多様化・複雑化する地域福祉課題の解決に向け、時勢を捉え、柔軟かつ適宜適切な事業実施は必要不可欠です。そのために必要な自主財源である会員会費及び寄付金について、その使途や必要性等の説明責任を果たし、一層の確保に努めます。 また、地域の企業や団体との連携を一層強化し、会費や寄附への理解を促し、スポンサーシップ積極導入等更なる自主財源の確保に努めます。 このほか、寄附に係る利便性の向上や寄附付き自動販売機の設置拡大のほか更なるファンドレイジングの推進について検討を進めます。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
会費・寄付のオンライン決済を継続し、会費は81件・134,500円、寄付は58件・197,305円の利用があった。寄付つき商品は5件・75,979円となり、寄付つき自動販売機13台の収入は741,482円であった。会費収入は6,268,360円、寄付収入は12,883,059円となり、寄付は目標を上回った。				寄付は遺贈寄付など大口寄付の影響を受けやすいため、安定的な自主財源の確保が課題であることから、オンライン決済、寄付つき商品、自動販売機等の充実を目指す。また、企業・団体との継続的な関係づくりや、広告・継続寄付など多様な手法の拡充を進める。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
会費収入（円）	目標		6,539,000	6,555,000	6,555,000	6,555,000	6,555,000	6,555,000	6,555,000
	実績		6,373,460	6,031,720	6,268,360				
寄附収入（円）	目標		26,727,000	10,000,000	10,500,000	11,000,000	11,500,000	12,000,000	12,500,000
	実績		45,516,029	27,921,395	12,883,059				
財源確保の取組み	目標	寄付付き自販機・遺贈寄付の積極的PR							
		寄付の電子決済検討	寄付の電子決済検討						
		寄付付き商品事業の検討	寄付付き商品事業の検討						
	実績		—	—	—	—	—	—	—

事業名	職員研修【資格取得助成】				所管課	総務課				
事業概要	福祉専門職としての自覚を持ち、さらなる職員のスキルアップを積極的に支援するため、社会福祉士をはじめとする福祉関係の資格取得に係る経費の一部を補助し、さらなる区民サービスの向上を図ります。									
取組の成果				今後の課題や方向性						
福祉関係資格取得助成制度を継続し、職員の資格取得や自己研鑽を支援する体制を維持した。一方、令和7年度は制度の利用実績がなく、目標3件に対して0件となった。				利用実績がなかった要因の一つとして、多くの職員が既に資格を取得していることが考えられる。一方、資格を有していない職員も一定数いることから、対象職員のニーズを把握するとともに、制度の周知方法や対象資格、助成内容等を検討し、利用促進につなげる。						
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	
補助件数（件）			目標	2	2	3	3	3	4	4
			実績	1	2	0				

事業名	職員研修【研修受講】				所管課	総務課				
事業概要	在職・経験年数に応じた、段階的な研修計画を策定し、人材育成を図ります。研修は外部講師による専門研修や所属長等による内部研修を積極的に実施するほか、江東区や東京都社会福祉協議会が主催する外部研修にも引き続き積極的に参加します。									
取組の成果				今後の課題や方向性						
内部研修の実施と外部研修情報の周知・参加促進に取り組み、防災、相談援助、精神保健、やさしい日本語等の幅広い研修に延べ88人が参加し、目標60人を上回った。職員の知識・技能の習得と専門性の向上を図ることができた。				参加者数は目標を上回ったが、在職・経験年数や職責に応じた体系的な研修体制の整備が課題である。人材育成計画を策定し、内部研修、外部研修、オンデマンド研修を組み合わせ、全職員が継続的に学べる環境を整える。						
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	
研修参加者数（人）			目標	68	50	60	70	80	90	100
			実績	78	152	88				
財源：補助金			予算	1,642,000	1,634,000	1,652,000				
			決算	683,943	818,778	852,295				

事業名	地域福祉活動計画			所管課	総務課				
事業概要	江東区地域福祉活動計画の推進にあたり、推進・評価委員会において事業の進捗状況や評価を行うとともに、社会の変化や状況等を踏まえ、適宜見直し、必要な調整を実施します。								
取組の成果				今後の課題や方向性					
評価体制として、「地域の住民」、「社協事務局」、「推進・評価委員会」の3つの主体を活用して、段階的に評価・進捗管理を実施することができた。また、評価手法として、KPT法を取り入れて評価を行うことで、課題や継続する点を共有をすることができた。				江東区地域福祉活動計画の推進にあたり、より多くの区民や団体からの評価意見をいただき、計画参加のすそ野を広げるべく、広く周知を図っていく。					
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
推進・評価委員会開催件数（回）		目標	1	1	1	1	1	1	1
		実績	1	1	2				
財源：補助金		予算	3, 576, 000	3, 576, 000	412, 000	433, 000			
		決算	687, 447	2, 144, 802	408, 738				

事業名	地域公益活動支援事業					所管課	総務課			
事業概要	社会福祉法人には「地域における公益的な取組みを実施する責務」が課せられている一方、社会福祉協議会は、地域の個人、団体間の連携強化による地域福祉の推進に取り組んでいます。このため、区内の社会福祉法人とのネットワークを通じて、地域住民の多様な福祉ニーズを把握し、連携して課題を解決する公益的な取組みを推進します。対象を区内に事業所のある社会福祉法人等とし、具体的な取組みとして、連絡会の開催を通じた連携体制の構築や強化、各主体で抱える課題や住民ニーズ等の共有を図ります。また、援助技術や貧困家庭向けの支援食糧、高齢者、障害者向けの補助具等のリソースの共有を図るほか、食糧支援等のプログラムや連携事業の実施に向けた検討を行っていきます。これらにより各主体が実施する地域における公益的な取組みを推進する仕組みを構築します。									
取組の成果				今後の課題や方向性						
区内社会福祉法人ネットワーク連絡会を開催し、防災対策や被災時の要配慮者支援について学ぶとともに、法人間の情報共有を行った。19法人（31団体）が参加し、法人・団体、相互の連携協働の基盤づくりを進めた。				参加法人の拡大と継続的な関係づくりに向け、連絡会を定期開催し、各法人が抱える課題や保有する資源を共有する。法律相談や防災等の実務的な取組を充実させ、法人間の具体的な連携事業や地域公益活動の実施につなげる。						
年次目標			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	
参加法人の数			目標	20	25	30	35	40	45	50
			実績	－	19	21				
公益活動に向けた取組み			目標	－	連絡会の開催					
					リソースの共有					
					連携事業の検討					
					連携事業の実行					
					成果評価					
					事業改善					